



すびっこ  
美術館

舟石川保育所  
橋本 悠吾くん



靴取り鬼

保育園で「靴取り鬼」をしている様子を  
描いてくれたのは悠吾くん(5歳)。鬼から  
逃げるのが、とても楽しかったそうです。  
そんな悠吾くんは、サッカーも大好き。  
「家でもパパやお兄ちゃんと一緒にやる  
んだ」とうれしそうに話してくれました。

ぼくの夢  
わたしの夢



おじいちゃんに憧れて…

石神小学校6年 ● 氏家 甲太郎

ぼくのおじいちゃんは、エンジニアという仕事をして  
いました。おじいちゃんは、仕事で他の国に行くことが  
多かったそうです。だから、いろいろな国の言葉が話せ  
ます。あと、たまに他の国に行ったときの話をしてくれ  
ることもあります。おじいちゃんは、50か国くらい行っ  
たことがあるそうです。

そんなおじいちゃんに憧れてぼくが見つけた夢は、お  
じいちゃんに負けなくらい、いろいろな国を旅するこ  
とです。外国で多くの人と話をしても困らないように、  
今も英語をたくさん勉強しています。特に行きたい国  
は、カナダとアメリカです。カナダは、メープルシロ  
ップを食べてみたいからです。アメリカは、ニューヨ  
ークに行き、「自由の女神」を見てみたいからです。

だから、英語の勉強をもっとたくさんして、おじい  
ちゃんのように話せるようになりたいです。

わが家の子育てノート

秋山 明恵

わが家は、長男の蓮甫(4才)と長  
女の玲菜(2才)と私の3人家族です。  
蓮甫は、よく泣き、よく飲む子でし  
た。母乳だけでは足りなかったよつで、  
ミルクを足さないと寝てくれず、泣い  
てばかりで手のかかる子でした。初め  
の育児は分からないことばかりで思  
い通りにいかず、泣きやまない蓮甫と  
一緒に泣いていた日々もありました。

一方、玲菜は生まれたとき、母乳  
もミルクもうまく飲むことができ  
ず、鼻から管を通され、痛々しい姿  
で保育器の中にいました。生後3日  
目には、出生時から体重が1割減っ  
てしまい、検査のために大きい病院  
に緊急搬送され、胃軸捻転症のため  
1か月程入院をしていました。でも、  
退院してからは病気だったことが嘘  
のようによく飲み、よく寝る子でし  
た。母乳だけでほとんど足りていて、  
よく寝てくれる手のかからない子で  
した。2人目ということもあってか、  
少し気持ちに余裕が出て、育児を楽  
しめるようになった気がします。

私は、蓮甫が2歳半、玲菜が1歳  
のときに離婚をしているので、父親は  
いません。離婚を機に働くことにな  
り、子どもたちを保育園に通わせるこ

とになりました。平日はフルタイムで  
仕事をして、土日曜日にはアルバイ  
トもして生計を立てています。育児  
に家事に仕事にアルバイト、その全部  
を1人でこなしているため、慌ただし  
い毎日、正直、子どもたちと関わる  
時間があまりありません。子どもたち  
には、わがままを言うことも甘えるこ  
とも我慢させていて、寂しい思いをさ  
せているはずなのに、子どもたちはい  
つも笑顔でいてくれて、聞き分けも良  
く、進んでお手伝いをしてくれます。

父親がいなくても真つ直ぐで素直  
で優しい子に育ってくれました。父  
親がいなくても、子どもたちに嫌  
な思いをさせるのではないかと、1人  
で子ども2人を育てていけるのか  
不安でしたが、子どもたちの存在  
が、いつも私を支えてくれていたの  
で、1人でもなんとかここまでやっ  
てこられました。これからも母子3  
人で笑い合い、助け合い、支え合い  
ながら、  
仲良く、  
強く、た  
くましく  
生きてい  
こうね。

